

・平成26(2014)年11月6日(木)～11月8日(土)

・行程

11月6日 山形駅集合 菅原家訪問 田麦俣旧遠藤家住宅 休暇村羽黒泊  
7日 出羽三山神社 致道博物館(旧渋谷家(重文)) 酒田泊  
8日 国営みちのく公園ふるさと村 仙台駅解散

・参加 57名(うち民家園2名)

・研修の概要

(11月6日)

山形駅に集合後、バスで鶴岡市松沢の菅原家に向かう。現地では現在の当主である淳一氏にお目に掛かることができた。

お話によると地域は過疎化が進み特に若い人が定住しないとのことで静かな集落であった。豪雪地帯のため既に現代風の雪囲いが家を取り囲んでいたが、ご当主によれば昔は旧菅原家の二階からスキーで出入りすることもあったとのことである。

また、当時の生活についていろいろお話を伺い今後の活動の参考になるとともに、民家園での炉端の会の活動を評価しているとのことをお話をいただき大いに励まされた。

その後、田麦俣の旧遠藤家(茅葺屋根の多層民家・県指定有形文化財)を見学した。田麦俣は六十里街道の要所で湯殿山信仰が盛んになるにつれ宿場の性格を帯びてきた集落である。豪雪地帯のため出



田麦俣 旧遠藤家住宅

入り口の確保と敷地が限られているため多層構造が必要であった。高ハツポウの兜造りで旧菅原家と同様の外観である。

(11月7日)

まず、山岳信仰の霊地である出羽三山の羽黒山山頂三山神社の豪壮な茅葺社

殿、国宝の羽黒山五重塔や随神門などを見学した。いずれも歴史に裏打ちされた荘厳さに圧倒される思いであった。

次に、米どころ庄内平野に位置する鶴岡市を訪ねた。数多くの史跡や文化財がいにしへの面影を伝える城下町である。

庄内にまつわる文化財が多く展示されている致道博物館を見学した。

なかでも国の重要文化財である田麦俣から移築された旧渋谷家は昨日見学した旧遠藤家と同様重厚な茅葺きの民家であった。

その後、最上川の河口に開かれ湊町、商人のまちとして大いに栄えた酒田に向かった。到着後は山居倉庫などを散策し豊かな自然や今なお残る湊町文化を感じることができた。

(11月8日)

出発前の時間を利用して酒田の豪商本間家の旧本邸や日本海海運に大きな役割を果たした廻船問屋の鐙屋などを見学した。

仙台へ向かう途上、宮城県川崎町のみちのく公園ふるさと村を訪問した。

この村には東北六県の特徴ある茅葺民家が7棟移築復原されている。岩手・遠野の南部曲り家、秋田・本庄由利の両中門造りの家、青森・津軽の内馬屋式直屋など各地の歴史と風土に培われた民家を見学し大変勉強になった。

また、国営ということもあり映像や模型、展示物などをふんだんに使って判りやすく、興味を持たせる紹介をしており民家園の活動の大いに参考となった。

仙台駅で解散、3日間の大変有意義な園外研修を無事終了した。



みちのく公園ふるさと村にて

(編集委員 13期 金曜 布野)